令和２年９月定例会提出　予算・一般議案一覧

Ｒ２．８．２８

No.	議案番号	議　案　の　題　名	概　　要	所管課
1	議案第６２号～第７０号	令和元年度　熊谷市一般会計歳入歳出決算ほか	令和元年度の一般会計、特別会計及び公営企業会計における歳入歳出決算は、全ての会計において収支の均衡を保ち、健全に予算の執行を終了した。	財政課 経営課
2	議案第７１号	令和２年度　熊谷市一般会計補正予算（第４号）	別紙参照	財政課
3	議案第７２号	熊谷市都市計画税条例の一部を改正する条例	①「地方税法」の一部改正に伴い、課税標準の特例に関する規定の整備を行うもの ②都市再生特別措置法等の一部を改正する法律（令和２年法律第４３号）の施行の日又はこの条例の公布の日のいずれか遅い日から施行	資産税課
4	議案第７３号	市道路線の認定について	県道胄山熊谷線の一部区間の道路等の認定（３路線）	管理課

令和2年8月28日発表
担当課:財政課

令和２年度９月市議会補正予算（案）の概要

１　予算規模

（単位：千円）

会　　計　　区　　分	補正前の額	補正額	合　　計
一般会計補正予算（第４号）	88,075,310	1,466,398	89,541,708
特別会計の計	23,369,800	0	23,369,800
一般会計及び特別会計の計	111,445,110	1,466,398	112,911,508
企業会計の計	14,348,000	0	14,348,000
合　　計	125,793,110	1,466,398	127,259,508

２　補正予算の主なもの

一般会計

（単位：千円）

款		事　　項	補正額	備　　考	担当課
2	総務費	「スマートシティ」 バス隊列走行実証実験事業	11,997	持続可能な地域公共交通の新たなモデルを構築するため、自動運転バス隊列走行の導入を見据えた実証実験を行う。	企画課
		「ＳＴＯＰコロナ」 地域公共交通支援事業	17,000	新型コロナウイルス感染症への経済対策として、感染防止対策を実施した上で運行を継続する地域公共交通事業者へ支援を行う。	
8	土木費	準用河川維持管理経費	12,000	治水対策を推進するため、国の緊急浚渫事業債を活用し、市内準用河川の河道浚渫工事を実施する。	河川課
9	消防費	消防施設維持管理等経費	96,200	当直勤務消防職員の新型コロナウイルス感染防止及び健康衛生管理のため、熊谷消防署、玉井分署及び妻沼消防署の仮眠室を個室化するための工事等を行う。	消防総務課
10	教育費	「ＳＴＯＰコロナ」 学校給食費無償化事業	（無償化による影響額） 377,497	新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた子育て世帯の経済的負担を軽減するため、令和２年10月から令和３年３月までの学校給食費を無償化する。	教育総務課 熊谷学校給食センター
		小中学校ＧＩＧＡスクール構想事業	890,333	ICT機器の効果的な活用により全ての子供たちの学習機会を保障できる環境を実現するため、児童生徒に対し１人１台の端末を整備するとともに、校内通信ネットワークを整備する。	学校教育課
		「ＳＴＯＰコロナ」 修学旅行キャンセル料支援事業	6,639	新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止した修学旅行のキャンセル料について、子育て世帯の経済的な負担を軽減するため、市費により負担する。	

※そのほか、新型コロナウイルス感染症対策経費として、小中学校、江南幼稚園、保育所（公立・私立）、放課後児童クラブ（公立・私立）、地域子育て支援拠点等における消毒薬や空気清浄機等の購入経費等について、所要の額の予算措置を行う。

※また、市へ寄せられた寄附金について、それぞれの寄附目的に応じて、基金への積立て等の予算措置（5,826千円）を行う。

３　債務負担行為補正

（単位：千円）

事　　項	期　　間	限度額	備　　考	担当課
文化会館空調設備改修工事	令和３年度	200,000	老朽化した空調設備の改修工事について、債務負担行為を設定する。	文化会館

担当者　総合政策部財政課　林

＜速報＞
令和2年度9月補正予算（案）概要
令和2年8月28日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
「スマートシティ」バス隊列走行実証実験事業

1 事業概要

【目的】
市内において代表的な集客施設である熊谷スポーツ文化公園と来訪者の拠点となる熊谷駅との交通アクセスの最適化を図るため、自動運転機能及び後列追尾機能などの最新技術を活用したバスの隊列走行の導入に向けた実証実験を行います。
本技術の実用化により、待たせず、乗りこぼさず、効率的な来訪者輸送が可能となり、本市及び熊谷スポーツ文化公園の魅力向上につながります。

【内容】
バス隊列走行に関する技術を検証するため、今回は乗用車２台をデータのやり取りにのみ特化した通信ワイヤでつなぎ、公園敷地内を隊列走行により試験走行します。

【経過】
本市が事務局を務める熊谷スマートシティ推進協議会における取組事業について、国土交通省スマートシティモデルプロジェクトへの追加公募に応募したところ、７月３１日、本事業が令和２年度重点事業化促進プロジェクトに選定されました。本事業では、本市における代表的な集客施設である熊谷スポーツ文化公園と熊谷駅とのアクセス改善を、市内の解決すべきモビリティの課題の一つと捉えており、この課題に対し、先進的技術を活用し解決できないか検討を重ねてきたものです。

【効果】
今回の実証実験を踏まえ、まずはバス隊列走行の技術的な可能性について検証するとともに、将来的な熊谷スポーツ文化公園と熊谷駅との間のアクセス改善、将来的な運転手不足への対応、そしてその他の地域での活用の在り方などについてその方向性を見定める一助とすることを目標としております。

2 特徴やPRポイント

・スマートシティの推進を図る本市において、具体的な取組みとして、最初の事業となります。
・バスの自動運転そのものは、他の自治体においても例がありますが、バスの「隊列走行」の実証実験は、他に例がなく、全国初の試みとなります。

3 その他

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

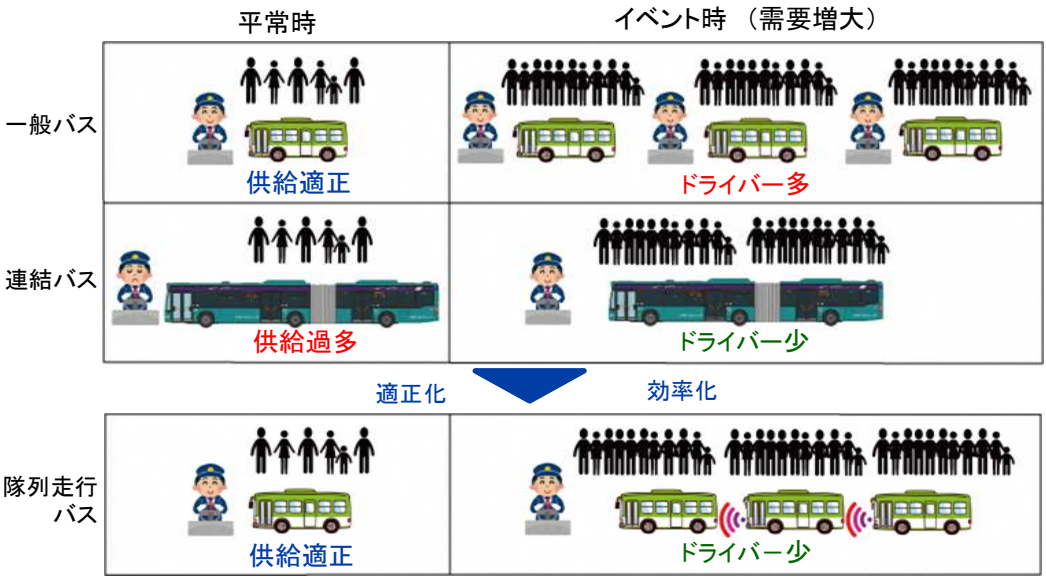
担当者　総合政策部　企画課　　担当　竹村・持田・大澤
連絡先　TEL 048-524-1111　　内線　528・215

バス隊列走行について

＜隊列走行のあらまし＞

有線通信によるワイヤ式電子連結装置とレーザーセンサによる無線式電子連結装置を組み合わせることにより、天候や電波環境に影響されにくい安全性を高めたシステムの構築を目指す。

本システムは連結と非連結の切り替えが容易であることから、需要増大時と平常時の需要に見合った配車や、複数路線間で車両やドライバーを融通することが可能となり、効率性、持続可能性が高まる。



- 一般のバスは、イベント時に適切な台数のバスを調達するのと同時に、台数分の運転手の調達を必要とし、平常時とイベント時の運転手の確保数の相違に課題がある。
- 連結バスは、イベント時において高い輸送能力を有するものの、平常時においては供給過多の状態となってしまう。
  また、導入・維持費用が高価であり、運転手に通常以上の運転能力を求め、かつ、連結バスの運行を可能とするようなインフラ整備を別途必要とする。
- 隊列走行バスは、平常時・イベント時にそれぞれ相応の台数のバスを調達でき、かつ、運転手の調達を最小限とすることができるため、安定した運転手の確保が図れ、また、イベント時においても状況に応じた台数をもって運行することができる。

＜速報＞
令和2年度9月補正予算(案)概要
令和2年8月28日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
「STOPコロナ」地域公共交通支援事業

1 事業概要

【概要】
感染防止対策を実施した上で運行を継続する地域公共交通事業者（路線バス事業者・タクシー事業者）へ支援を行います。（総額17,000千円）

（バス事業者）
① 補助対象
路線バス：熊谷市内に路線を有するバス事業者
（国際十王交通㈱、朝日自動車㈱、深谷観光バス㈱）
空港バス：熊谷市内発、羽田空港行き高速バスを運行するバス事業者
② 補助金額　9,100千円
路線バス：100千円／１台
空港バス：300千円／１台

（タクシー事業者）
① 補助対象
熊谷地区構内営業タクシー協議会に加入するタクシー事業者
（中央タクシー（株）、熊谷構内タクシー（株）、七福タクシー(有)、
かごはらタクシー(有)、(有)井上商会）
② 補助金額　7,900千円
50千円／１台

2 特徴やPRポイント

地域公共交通事業者は、新型コロナウイルス感染症対応で移動需要が減る中でも、感染防止対策を実施した上で、運行を継続しています。本市は、路線バス、タクシーが充実しており、こうした重要な地域公共交通を守るため支援を行います。
また、羽田空港行き高速バスについても、特に需要減が大きいことから、別に支援を行うこととしました。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　総合政策部　企画課　　担当　西村
連絡先　TEL　048-524-1111　　内線　215

＜速報＞
令和2年度9月補正予算(案)概要
令和2年8月28日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
準用河川維持管理経費

1 事業概要

【目的】
堆積土砂対策の計画的な実施により、流下断面を継続的に確保し、河川を安全で良好な状態に保つことを目的とします。

【内容】
雨水の流下能力を確保するため、当初予定していた新星川の浚渫工事に加えて、新奈良川についても長年にわたり堆積した土砂を除去します。

【効果】
集中豪雨や局地的大雨による河川からの氾濫を減らすなど、浸水被害の軽減に大きな効果があります。

2 特徴やPRポイント

国の緊急浚渫推進事業債を活用して実施します。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　建設部　河川課　　担当　茂木
連絡先　TEL　048-524-1111　　内線　355

＜速報＞
令和2年度9月補正予算(案)概要
令和2年8月28日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
消防施設維持管理等経費

1 事業概要

【目的】
新型コロナウイルス禍において、現場活動を主体とする当直勤務消防職員は、罹患者との接触機会の増加により感染リスクが高まっています。
本市の消防庁舎は旧態施設が多く、消防職員に感染者が出た場合、職員間の濃厚接触及び飛沫感染を防ぐことができないことから、職場内においてクラスターを引き起こす可能性があります。
こうした施設の環境改善を図るため、熊谷消防署、玉井分署及び妻沼消防署の改修工事等を行います。

【内容】
①仮眠室を個室化するための改修工事請負費
②シャワー室整備のための設計委託料

【影響】
① これまでの大部屋の仮眠室を改修し、仮眠室内に仕切りとなる壁を設け、区分けし個室化します。
② 現在の各署浴室は浴槽１、シャワー１が設置されているのみのため、飛沫、接触等で曝露した複数の職員が一度に利用することができない状況です。複数の職員が同時にシャワーを利用することが可能となるよう、浴槽を廃し小分けのシャワー室を設置するための設計を行います。

【効果】
・ 新型コロナウイルスをはじめ各種感染症に対し、仮眠中の職員間における感染リスクの軽減が図れます。
・ 職員の災害対応準備時間の短縮を図ることが可能となるほか、健康衛生管理上でも改善されます。

2 特徴やPRポイント

今回の仮眠室改修工事により、既存で個室化されている５０名分（中央消防署）に加え、新たに１１０名分が個室化されることとなります。

3 その他

※ 資料の有無（ 有 ・ (無) ）

担当者 消防本部消防総務課 担当 青木
連絡先 TEL 048-501-0119 内線

＜速報＞
令和2年度9月補正予算(案)概要
令和2年8月28日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
「STOPコロナ」学校給食費無償化事業

1 事業概要

【目的】
新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた子育て世帯の経済的負担を軽減します。

【内容】
市立小中学校の児童生徒の給食費を令和2年10月から令和3年3月まで無償化するとともに、私立小中学校等の児童生徒に給食費相当額の支援金（補助金）を支給します。

【影響・効果】
＜市立小中学校＞
令和2年10月から令和3年3月までの給食費を市費で負担します。
［小学校］児童1人当たり　日額：219円～243円
［中学校］生徒1人当たり　日額：252円～292円

＜私立小中学校等＞
市内に在住する私立小中学校等の児童生徒に対しては、給食費相当額の支援金（補助金）を支給します。
［小学校］児童1人当たり　24,000円
［中学校］生徒1人当たり　29,000円

【事業費】
無償化による影響額　377,497千円（うち歳入の減額による影響額　306,235千円）

2 特徴やPRポイント

熊谷市立小中学校の給食費を無償化するだけでなく、私立小中学校や特別支援学校に在籍する児童生徒等に対しても、給食費相当額を支援することで、子育て世帯の経済的負担を一律に軽減します。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　教育委員会　教育総務課　　担当　小暮・神山
連絡先　TEL048-524-1111　　内線　550・392

＜速報＞
令和2年度9月補正予算(案)概要
令和2年8月28日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
小中学校GIGAスクール構想事業

１ 事業概要

【目的】
熊谷市立小中学校に児童生徒１人１台の端末と高速大容量通信ネットワーク（以下「校内LAN」という。）を一体的に整備し、従来の、子供と教師、子供同士が向かい合い、活字を用いた授業を基本にしながら、これに加えて、ICT機器を活用した授業によって子供たちの学びを保障し、学力を更に高めます。

【内容】
ICT機器の効果的な活用により全ての子供たちの学習機会を保障できる環境を実現するため、児童生徒に対し、１人１台の端末（14,049台）の整備をするとともに校内LANを整備します。

【経緯】
国が推進しているＧＩＧＡスクール構想について、本市では、大型提示装置・指導者用コンピュータ・実物投影機を市内全小中学校の教室に導入した後に対応していくこととしていました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校を長期の臨時休業とする緊急事態となりました。
このような事態に今後見舞われた場合、これまで同様の学びを保障するためには、一刻も早く児童生徒のICT環境を整える必要があることから、国は令和５年度の達成を目指していた端末整備を今年度中に前倒しし、そのための経費について補正予算を成立させ、ＧＩＧＡスクール構想の実現を加速させました。
そこで、本市においても、こうした急激な状況の変化を踏まえ、現在進めている大型提示装置等の導入に加え、前倒しして、児童生徒1人1台の端末と校内LANを整備することとしました。

２ 特徴やPRポイント

・児童生徒が考えたことを１人１台の端末に書き込むことができ、大型提示装置に映し出して発表したり、考えを共有したりできます。

・体育の器械運動や陸上競技などで、端末を活用して動きを撮影し、スロー再生や静止画で自分の動きを確認したり、お手本となる動きの特徴を確認することができます。

・理科では、何度も繰り返すことが容易ではない実験において、実験の様子を撮影して、スロー再生や静止画で繰り返し確認することで、どうしてこのような結果が出たのか考察することができます。

・個々の児童生徒が得たい情報について、１人１台の端末からインターネットで必要に応じて調べることができます。

３ その他

国の補正予算を受け、令和２年度末までに整備を行う予定です。

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者　教育委員会　学校教育課　　担当　髙草木
連絡先　TEL 048-524-1111　　内線　386

１　児童生徒１人１台端末、校内無線 LAN 整備後の普通教室等のイメージ

(1)　大型提示装置と児童生徒１人１台端末の活用イメージ

（児童生徒１人１台端末が大型提示装置に映る）



(2)　校内無線 LAN の活用イメージ

（普通教室、特別支援学級、理科室、英語ルーム、体育館等からインターネットに接続できる）



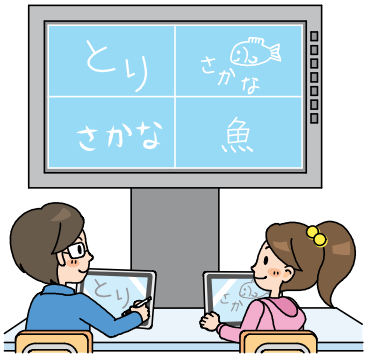
個々の児童生徒が得たい情報について、児童生徒１人１台端末からインターネットで必要に応じて調べることができる。



ＷＥＢ版くまなびスクールやＥテレ等のインターネットの動画教材を指導者用コンピュータで必要に応じて、提示することができる。

2　児童生徒１人１台端末や校内無線 LAN を活用した授業

児童生徒１人１台の端末が整備された時、子供たちは課題に対して様々な考えを持つようになる。子供たちが考えたことが児童生徒１人１台の端末に書き込まれ、校内無線 LAN によって指導者用コンピュータに集約され、大型提示装置に示されることによって、様々な考えが効率よく共有化されることになる。学習内容をより深く子供たちに身に付けさせることができると考える。タブレット PC の学習例を下記に示す。



(1)　算数

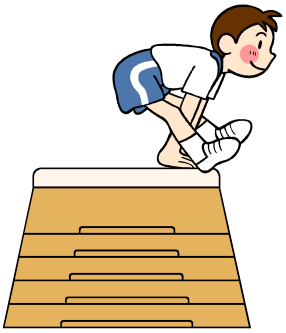
児童生徒１人１台が課題に対する解き方や解答を端末に書き込む。ペアで考えを伝え合う場では、端末を直接相手の児童に示し、学級全体で考えを発表する場においては、大型提示装置に示して発表させる。児童生徒が大型提示装置の前で考えを説明することで、考えたことを分かりやすく伝えることができたり、教師が補足することで子供たちの理解を深めることができたりする。



(2)　体育

身体の動きの特徴を瞬時にとらえることは難しい。そこで、器械運動や陸上競技などで、端末を活用し、動きを撮影して、スロー再生や静止画で繰り返し確認することで、自己の課題解決に取り組むことができる。

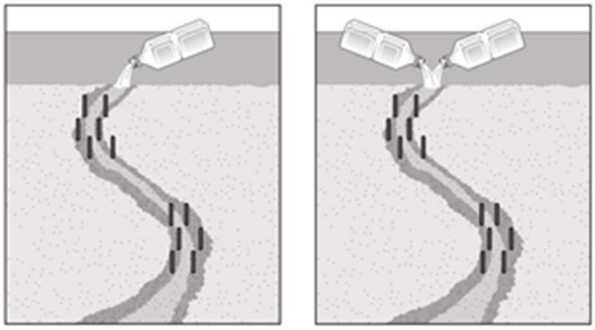
大型提示装置に投影することで、学級全員でよい動きの特徴をスロー再生で確認することができる。



(3)　理科

実験を何度も繰り返すことは、容易ではない。そこで、端末を活用し、実験の様子を撮影して、スロー再生や静止画で繰り返し確認することで、どうしてこのような結果が出たのか考察することができる。

単元末に大型提示装置に投影することで、学級の中で学習内容を振り返ることができる。



＜速報＞
令和2年度9月補正予算(案)概要
令和2年8月28日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
「STOPコロナ」修学旅行キャンセル料支援事業

1 事業概要

【目的】
本年度実施を予定していた修学旅行のキャンセル料を支援します。

【内容】
修学旅行の中止に伴って発生したキャンセル料6,638,128円（中学校6,477,649円　小学校160,479円）を市で負担します。

【経緯】
修学旅行について、その教育的意義や児童生徒の心情等を考え、実施時期をずらしたり、旅行方面を見直したりと、校長会で繰り返し検討を重ねました。しかし、今後も感染リスクがゼロではないこと、収束には時間がかかること、何よりも子供たちの命を最優先に考えた結果、３密が避けられない修学旅行については今年度は中止とし、保護者の皆様にお知らせをしました。
なお、修学旅行の中止で発生したキャンセル料については、家庭負担ではなく、市で負担することとしました。

2 特徴やPRポイント

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止した修学旅行のキャンセル料を市で負担することで、子育て世帯の経済的な負担を軽減します。

3 その他

・中学校16校については、令和2年6月6日～令和2年6月14日にかけて、京都・奈良方面への修学旅行を予定していました。
・小学校29校については、11月を中心に神奈川県、東京都、栃木県等への修学旅行を予定していました。
・現在県内の中学校については、65校が修学旅行を中止しています。

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　教育委員会　学校教育課　　担当　坂本
連絡先　TEL　048-524-1111　　内線　314

＜速報＞
令和２年度９月補正予算（案）概要
令和２年８月２８日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
文化会館空調設備改修工事

１ 事業概要

【目的】
　安全で快適なホールとなるよう空調設備改修を実施するため、債務負担行為を設定します。

【債務負担行為の期間】
　令和３年度

【内容】
　昭和５６年の開館当初から３９年間使用し、老朽化が深刻な文化会館棟の空調設備改修を行います。
　現場での改修工事は、令和３年８月１日から１１月３０日までを予定しており、文化会館ホール、練習室及び市民ギャラリーは、同期間中は利用休止となります。

２ 特徴やPRポイント

３ その他

　ホール及び市民ギャラリーの使用申請は１年前から受け付けているため、利用休止期間については、令和２年５月から市報及びホームページ等でお知らせしています。

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　文化会館　　担当　田中・野部
連絡先　℡　048-525-4553　　内線